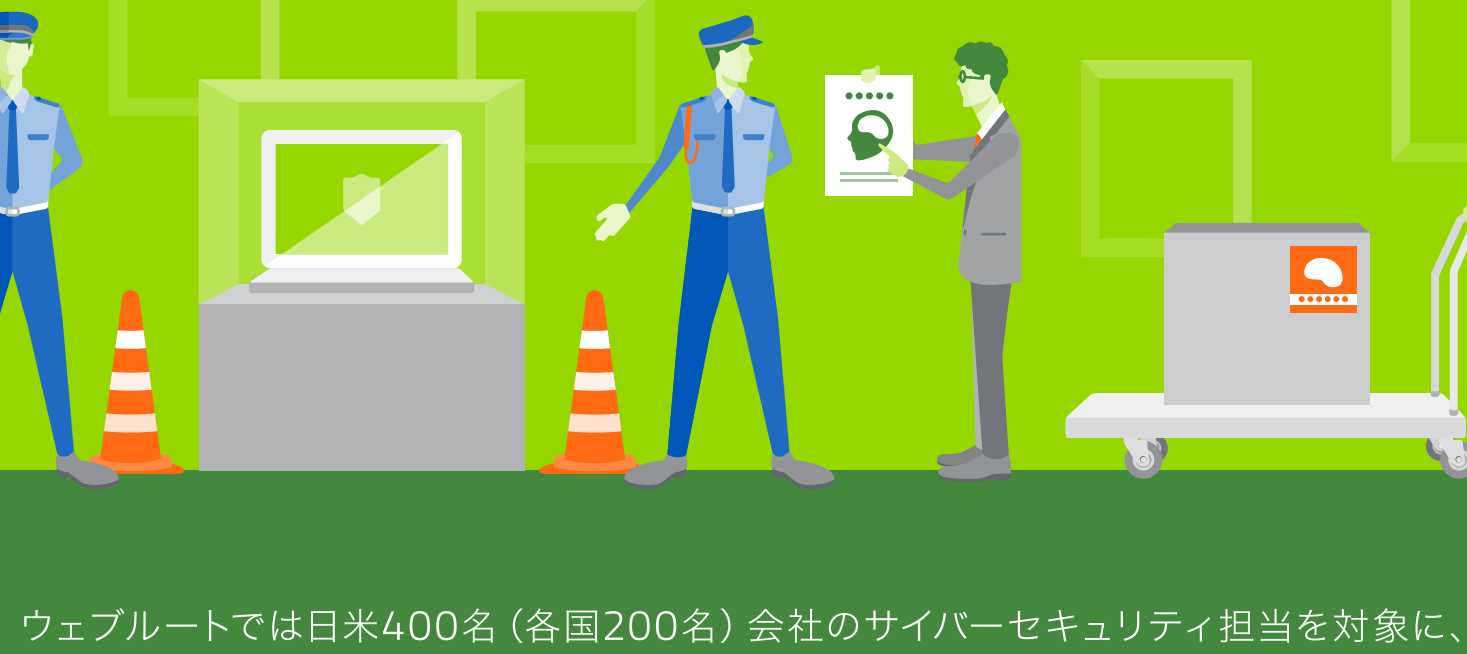


# セキュリティ対策に必須となるのは「AI・機械学習機能」※



ウェブルートでは日米400名(各国200名)会社のサイバーセキュリティ担当を対象に、人工知能(AI)サイバーセキュリティについての調査を実施し、得られた調査内容をインフォグラフィックでまとめています。

※機械学習：人工知能における研究課題の一つで、人間が自然に行っている学習能力と同様の機能をコンピュータで実現しようとする技術・手法のことである。

## Q1

サイバーセキュリティ戦略において AI・機械学習は重要だと思いますか？

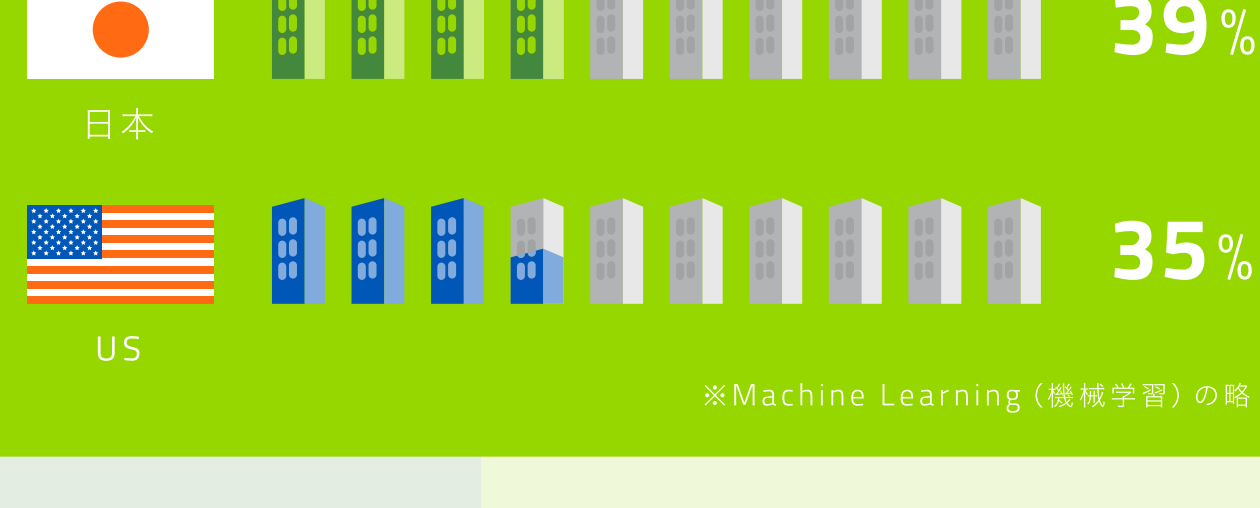


## Q2

今後3年間で、AIがなければデジタル資産を安全に保護できないと思いますか？



今後3年以内に、AIやML\*を利用したツールの導入予算を25%以上増加を検討している。

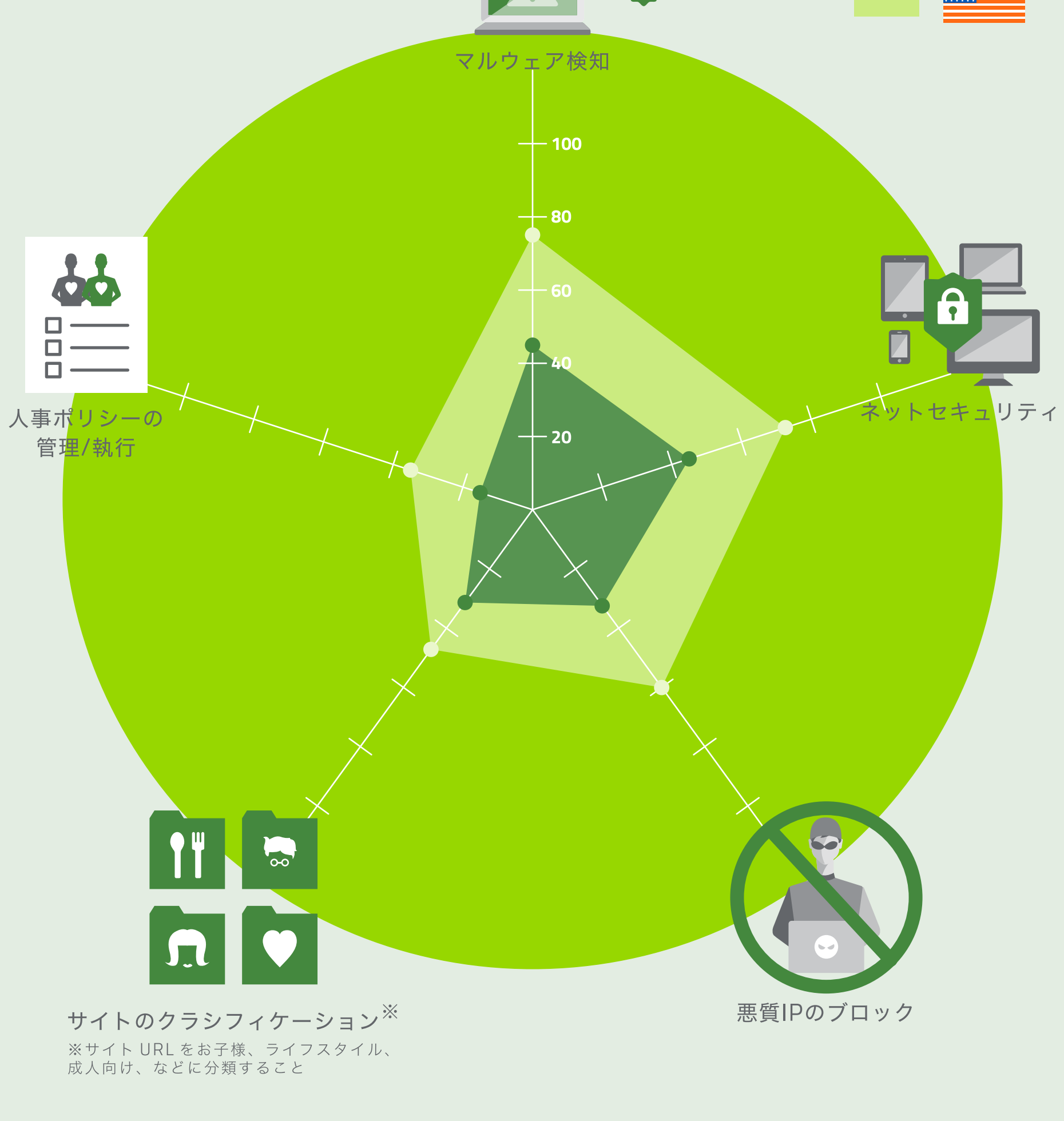


\*Machine Learning (機械学習) の略

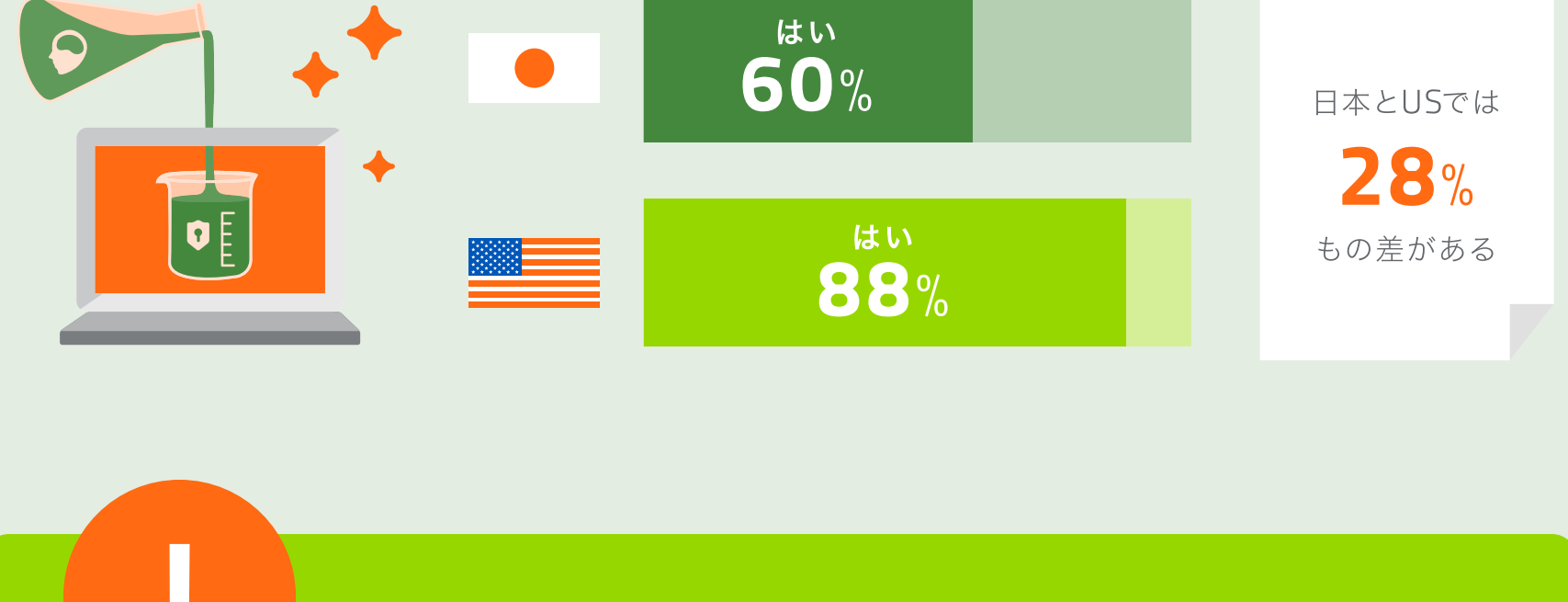
日本でもアメリカでも、サイバーセキュリティに “AIを活用すべきという意見が圧倒的多数”

## Q3

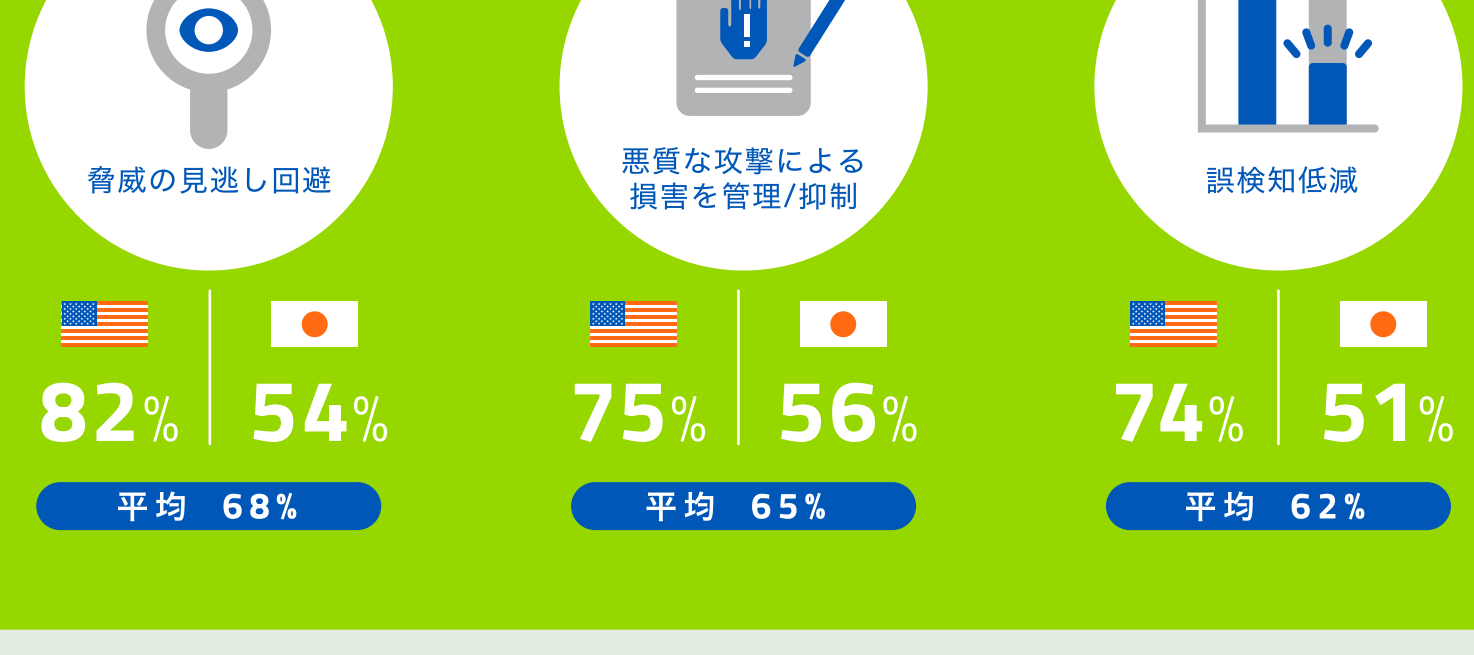
あなたの組織が現在AIを採用している、または組み込んでいるサイバーセキュリティ活動または製品で該当するものはどれになりますか？



「現在サイバーセキュリティ活動にAIを活用している」



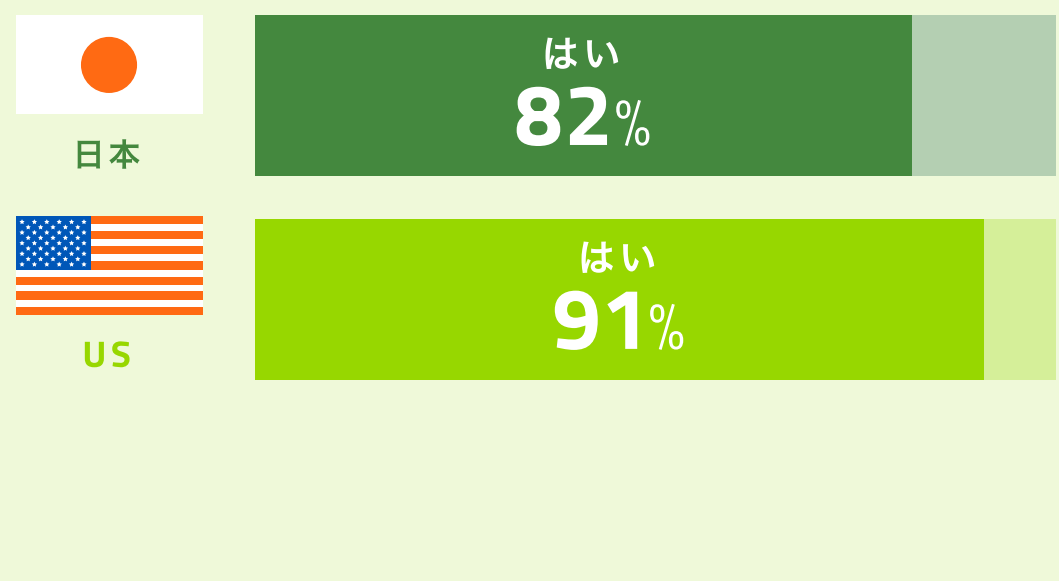
AIを採用することでサイバーセキュリティ向上が期待できる主なポイントとは？



日本はアメリカに比べAIを採用したセキュリティ対策の実施率及びAIを活用することによるセキュリティ向上への期待値 “いずれも大きく下回る結果となった。”

## Q4

AIを利用したサイバー攻撃の懸念はありますか？



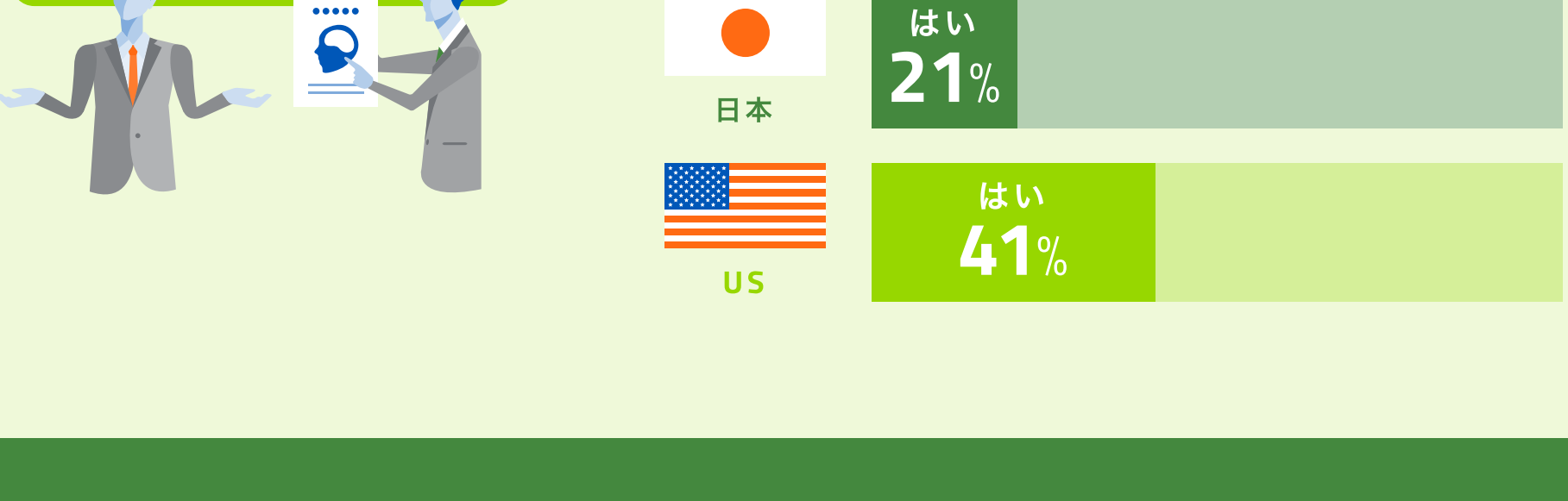
日米の8割以上の企業はAIによる攻撃を懸念している



日本では、AIベースのセキュリティ製品がまだ信頼に値すると考えてられていない

## Q5

AIベースのセキュリティ製品は信頼できると思いますか？



日本は、AIベースのセキュリティ製品の理解やサイバー攻撃の意識が低く活用が進んでいない。

2018年、AIを利用したサイバー攻撃による被害はより一層拡大することが予想される。

デジタル資産の保護や被害を抑えるため、

“最先端のAI・機械学習機能を採用したサイバーセキュリティツールが必要となる。”